

経営比較分析表（令和元年度決算）

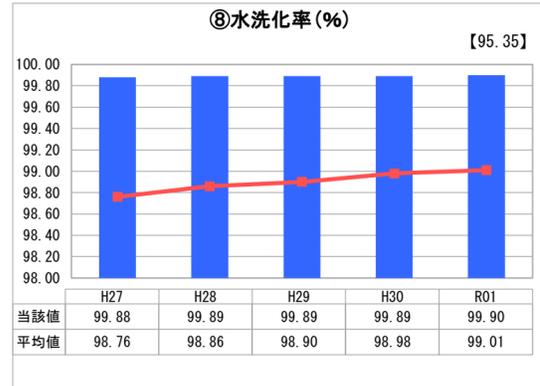
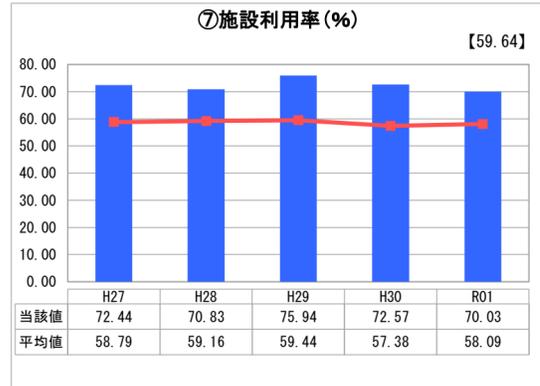
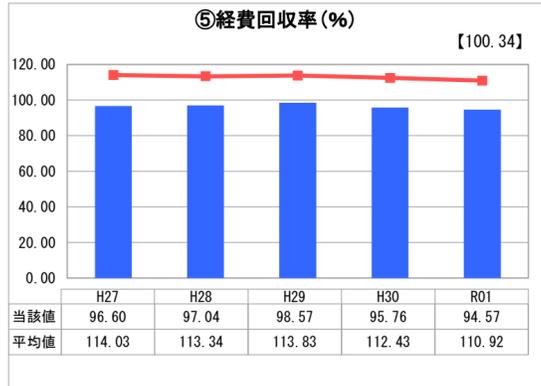
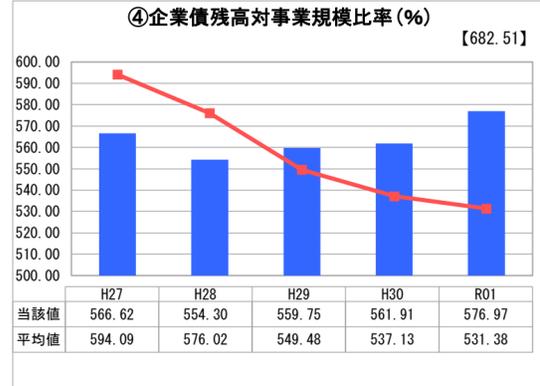
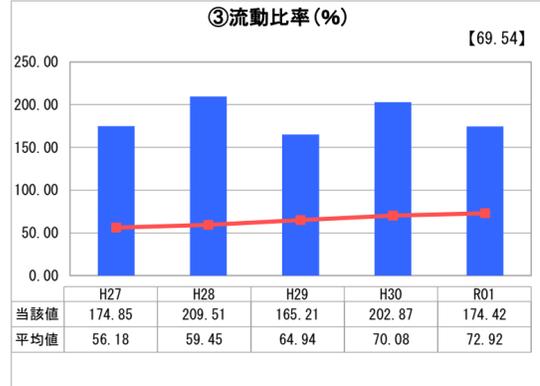
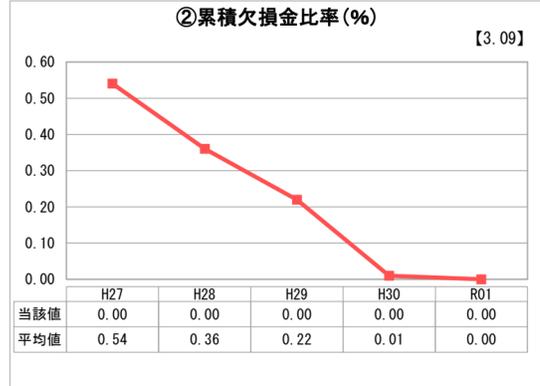
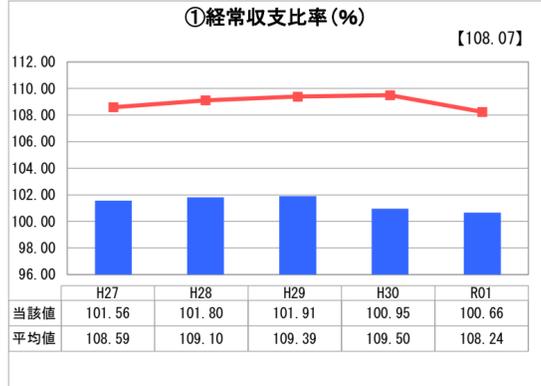
兵庫県 神戸市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	政令市等	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	75.90	97.71	94.93	1,595

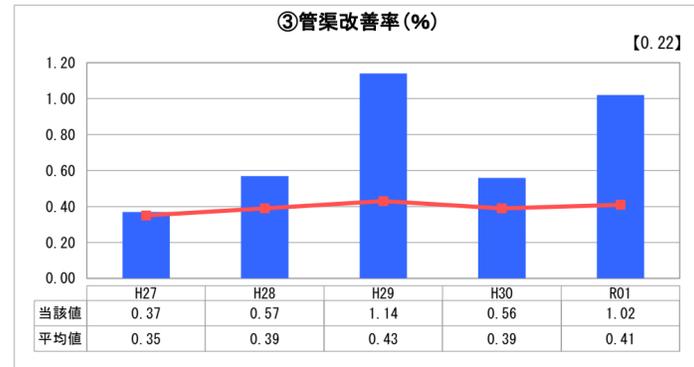
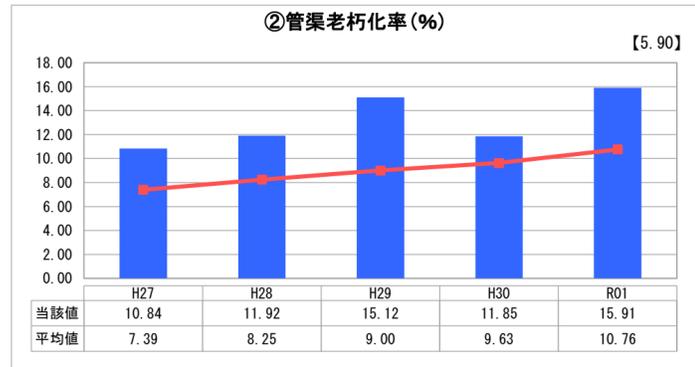
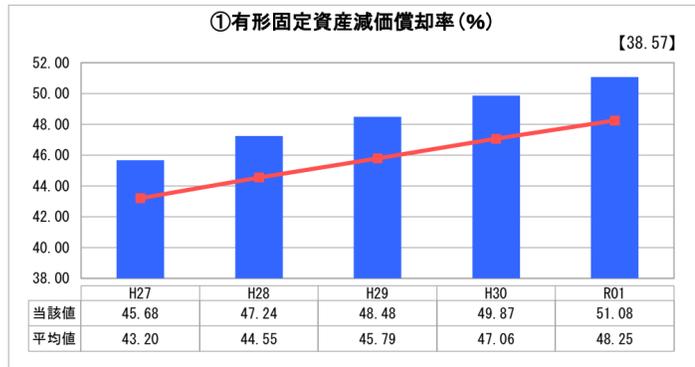
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,533,588	557.01	2,753.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,494,060	170.56	8,759.73

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①は、類似団体平均をやや下回っているが、100%は超えている。施設の老朽化が進む中、今後更なる改築更新が必要であることから、引き続き経営の効率化を進めていく。
 ②は、平成26年度の会計制度の見直し以降、黒字決算となったため、累積欠損金が0となっている。
 ③は現預金を十分に確保しており、類似団体平均よりも高く十分な支払能力がある状態である。
 ④は、これまで企業債残高の削減に取り組んできたが、平成29以降は、施設の老朽化による改築更新事業の増加に伴い、類似団体平均をやや上回っている。
 ⑤は、100%を下回っており、回収すべき経費を使用料で十分に賄っていない状態にある。令和2年4月1日に使用料改定を行ったが、新型コロナウイルス感染症に伴う使用料収入の減少の可能性が考えられるため、今後の状況を注視していく。
 ⑥は、これまでの維持管理の効率化により、類似団体平均よりもやや下回っている。今後も維持管理の効率化を行っていく。
 ⑦は類似団体平均よりも高く、概ね適切な施設規模と考えられる。
 ⑧水洗化を助成する制度の活用などにより、概ね100%に近い数値となっている。

2. 老朽化の状況について

①については、平成26年度の会計制度見直しによるみなし償却制度の廃止により、減価償却費累計額が増加した。
 ①、②、③については、類似団体平均よりも上回っている。これは、昭和40年代後半に集中的に整備した管きよ、処理場、ポンプ場の老朽化が進んでおり、法定耐用年数を超える施設が今後増加していく。そのため、事業費の平準化を図りながら、改築更新のペースを加速させていく。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」では、⑤が類似団体と比較すると低い状況にある。「2. 老朽化の状況」では、類似団体と比較すると老朽化が進んでいる状況にある。今後、人口減少による有収水量の減少等により、下水道使用料の減収が見込まれる一方で、老朽化した施設の改築更新費用が増加する見込みであるため、令和2年4月1日に使用料改定を行った。今後は新型コロナウイルス感染症に伴う使用料収入の減少の可能性が考えられるため、今後の状況を注視していく。また⑤が100%以上になるよう維持管理の効率化等を進めると同時に、さらなる改築更新の平準化を図ることで、健全かつ効率的な経営を実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。